

4月に向けて

代表取締役 三田雅憲

4月、新しい期が始まる時期となりました。当社も新入社員を迎え次世代に向けて頑張ってもらう人も出てきました。本当にうれしい季節となりました。又、私事を言えばこの社報が200回記念号となり、あしかけ17年間社報を連載させて頂きました。そして、今月は当社創業55周年の節目の年でもあります。4月18日には都ホテル京都八条口の陽明殿を拝借して記念の祝賀会ができますことも、本当に社員及びお客様や当社をバックアップして頂いている皆様のおかげであると心より感謝しております。(50周年はコロナ禍で中止となりました。)

私自身は、2008年に先代より社長に指名され、あっという間の17年が過ぎた感じです。リーマンショックの発生した年にどうしていったら良いのかわからぬまま、もがきながらやってきたという感じでした。私自身は決して優れた人間でもなく、社員の皆さんには平凡な社長に映っていると思います。が、ただただ会長から預かった会社を左前にすることなく少しでも発展させて、社員もお客様にも安心して喜んで頂きたいの一心で駆け抜けてきた感じです。私自身は、2030年(創業60年)を一つの節目として考えております。この5年間で社員にとってもお客様にとっても少しでも「GOODカンパニー」と感じてもらえるように一緒に努力していきたいと思っています。

又、新しい大きな取組みとしては2030年に中部地区のお客様の為に「岐阜安八工場」を開設する予定です。そして、千葉白井工場も10年目を迎え、少しずつ名前を認知して頂いておりますので、中部地区でもそうなるように頑張りたいと思います。又、皆様の活躍をより推進していく考えであります。特に若手の頑張りを後押ししていきたいと思っています。社員も事務長や専務を始め各班長、班長代理と会社愛が深い人がそれぞれ自分の立場をよく理解して頑張ってくれています。また、若手社員にも素晴らしいものを持った方が多く、今後の目標をしっかりと持って頑張ってもらっています。このような会社が日本でニッチな部分や業界であっても名前が響き、知る人ぞ知る会社になってくれたらと考えています。又、皆様が高度な技術を身に付けて、ニッチトップな企業をより進めていけるように、アクションプランを始めとするQC活動に協力していただきたいと思います。そして何より、女性活躍が一層進んでいくように社員の皆さんの協力を頂きたいと思っています。社員が目標に向かって自由闊達に議論し技術を高め、人間として成長し社会人として少しでも誇りをもって生活していけるように、私自身も頑張っていきます。今後ともよろしくお祈りいたします。